

民主あいち PRESS MINSHU 県政レポート

編集 民主党愛知県議員団(議会報告編集委員会)

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1-2 愛知県庁内
代表電話 052-961-2111 Fax. 052-961-3766
HP: http://www.minshu-aichi.com/

発行 県議会議員 長江正成 事務所

〒489-0881 瀬戸市熊野町83番地の8(尾張瀬戸税務署南隣)
TEL (0561) 85-5195 FAX (0561) 82-1375
E-mail: masanari@nagae.info URL: http://www.nagae.info

2016年4月号 愛知県2月定例県議会特集

本レポートは、政務活動費の広報費の一部充当して作製・配布しています。
ご意見・ご要望をお寄せください。

人が輝き躍動する愛知へ

社会的価値の実現求め 「公契約条例」制定

愛知県議会平成28年2月定例議会は、2月22日から3月25日まで開かれ、平成28年度一般会計予算約2兆5250億円、平成27年度2月一般会計補正予算約670億円の増額を含む86議案を審議可決成立させました。また今議会の冒頭には、国の地方法人課税制度の見直しによって、豊田市をはじめとする県内の7市町村で合計140億円程度の減収が見込まれる事について国に対策を講ずるよう求める意見書を採択した他「性犯罪被害者に対する支援の充実について」「子ども・子育て支援の拡充について」など6件の意見書を採択し国関係機関へ提出しました。また、新年度の人事では、新しい愛知県教育長に前愛知県総務部長の平松直巳氏を選任しました。

緩やかな回復基調を続ける本県景気動向



愛知県議会議員
(瀬戸市選出) 長江正成

の中、平成28年度の予算編成は愛知の経済、産業力を強化し、若者や女性の雇用を増やし「日本一元気な愛知」と豊かさを実感できる県民生活の実現を目指す多くの施策が盛り込まれています。

長江正成

県民の幸せにつなぐ愛知の実現



皆様の声をもとに日々の活動に力を入れ、今後とも、ご協力とご支援をお願いします。

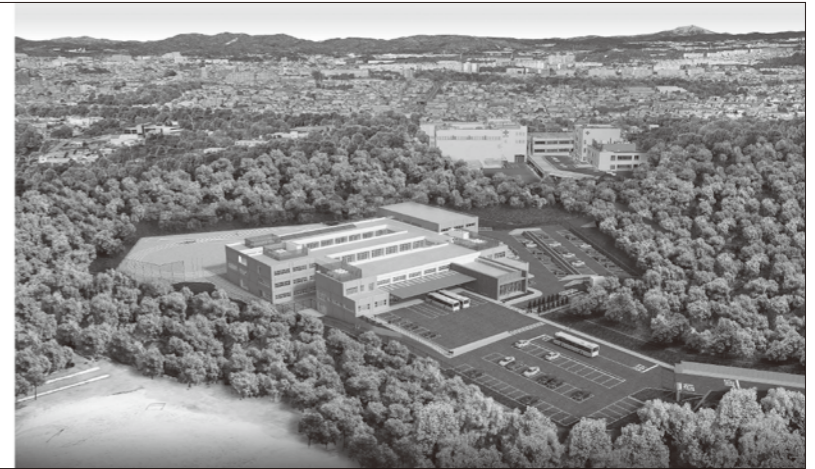
平成10年の危機的な財政状況の緊急アピールを経て、一貫して増え続けてきた愛知県の県債残高が平成28年度末に減少に転じることを、継続してきた行財政改革、持続可能な県財政への地道な努力の結果として私は評価しました。今後も、創意工夫を継続し、県民のための県政発展に努力していきます。

今議会の予算への評価として、春日台特別支援学校過大化解消のため、みなみやまグラウンドに計画される(仮称)瀬戸特別支援学校の実施設計費(111,852千円)が予算化され、平成31年4月開校に向け着実に事業を整備していきます。(4面参照)

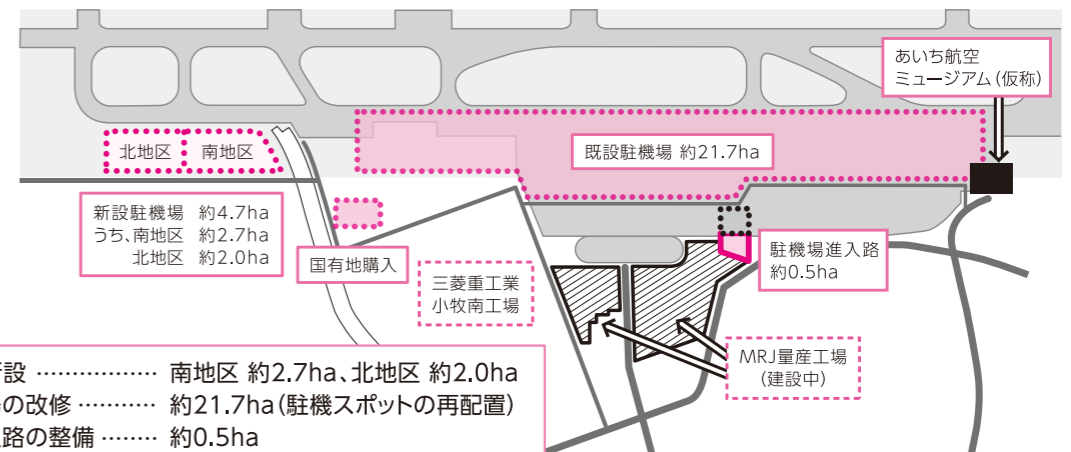
2月定例議会振興環境委員会では、海上の森隣接地に無許可で設置された太陽光パネルに関連して、愛知県の指導行政について質疑を行い、県の役割を含め業者に対する単なる規制行政だけでなく、是正を求めました。

春日台特別支援学校の過大化解消に 「(仮称)瀬戸特別支援学校」新設の実施設計予算化

- ◎予定地
瀬戸市南山口町地内
(みなみやまランド)
- ◎学校規模
45学級252人程度
(小学部・中学部・高等部)
- ◎開校予定
平成31年4月



「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」 構想推進に民間航空機生産・整備拠点形成



- 駐機場の新設 南地区 約2.7ha、北地区 約2.0ha
- 既設駐機場の改修 約21.7ha(駐機スポットの再配置)
- 駐機場進入路の整備 約0.5ha
- あいち航空ミュージアム... 平成29年度中のオープン

★ご友人の方で県政レポートが届いていない方がおみえであったり、万一宛先等に誤りがありましたらお手数ですが、ご連絡下さい。

お名前 _____ ☎ () - _____
ご住所 _____

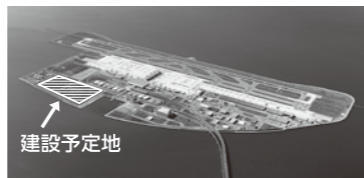
長江正成事務所 〒489-0881 瀬戸市熊野町83番地の8
(尾張瀬戸税務署南隣)
E-mail: masanari@nagae.info URL: http://www.nagae.info
TEL (0561) 85-5195 FAX (0561) 82-1375





「大規模展示場」を空港島に建設へ

日本一の産業県として展示会や国際会議などの誘致を実現するため、他都市に比べて不足している大規模展示場を、中部国際空港の空港島内に建設する方向で準備に入った。6万平米の施設規模で2019年秋の開業を目指し、公設民営方式を想定。改修・拡張を予定するポートメッセなごやと連携し、合わせて10万平米規模となる。



あいち小児保健医療総合センターの新生児医療対応強化

大府市森岡町に、小児救急の全県的な拠点として、小児集中治療室などを備えた救急棟が平成28年2月に供用開始したの続き、新生児医療の対応を強化するため、新生児集中治療室(NICU)、新生児治療回復室(GCU)、産科病棟、分娩室等の本館改修工事を実施する。平成28年度中に新生児医療を開始予定。



次世代産業の推進

将来の成長が期待される航空宇宙産業、ロボット産業、次世代自動車などの分野に対して産学官共同での技術開発、新規参入支援と共にサプライチェーンの構築に向けた相談会を開催する。また開発分野のみならず、製造現場においても高度な知識、技術が必要となることから、産学官共同で人材育成に取り組み、次世代産業の振興を推進し、日本一の産業県・愛知の競争力を高める。



ICTを活用した「あいち型植物工場」の整備促進

ICTを活用した温度、湿度、二酸化炭素などの環境測定装置や生育環境の制御に必要な装置等を導入し、環境制御が可能な「あいち型植物工場」の整備を進める。また「あいち型植物工場」を産地に拡大し、主な品目や産地ごとに生産者をグループ化してデータを共有し、栽培管理技術の確立を支援する。



住宅・建設物・県有施設の耐震化の促進

発生が予想される南海トラフ地震などの大規模地震発生時に、人の命を守るとともに、施設の使用や業務が継続できるように、住宅及び民間建築物の耐震診断や耐震改修に対する補助制度を継続するとともに、県有施設のつり天井についても耐震対策を実施する。



東京オリンピック・パラリンピックあいち選手強化

愛知県からオリンピック選手を80名、パラリンピック選手を15名送ることを目標にトップ選手やジュニア選手に強化費を支給するとともに、国内トップレベルの指導者・選手等による講演会及び実技指導講習会を行う。またオリンピックを招き親子で運動に親しむ「子どもスポーツふれあい事業」を実施する。



信号機の新設・改良で交通事故抑制へ

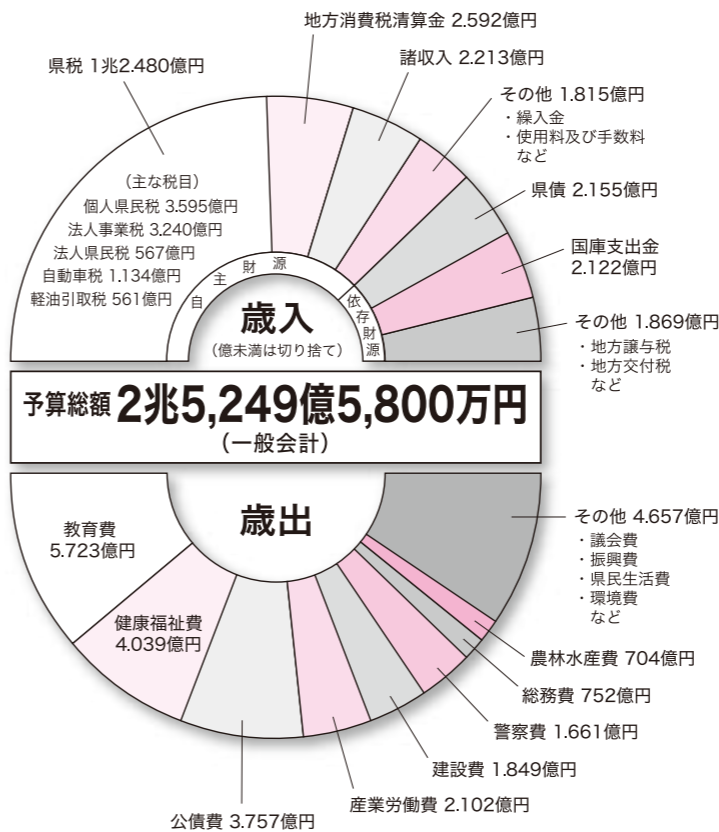
ワースト1位返上に向け、交通事故死者数の減少を目指し、事故多発地域など信号機、道路標識・標示等の交通安全施設を整備し、歩行者の安全通行の確保や、交通事故の抑止と道路交通の円滑化を図る。

■主な事業

信号機新設	29基
信号機改良	1,131基
信号灯器のLED化	5,175灯
道路標識の新設・更新	11,369本
道路標示の新設・更新	3,238km

いのち・雇用・くらし重点に

平成28年度一般会計予算のポイント



歳入 実質収入ベースは前年度当初予算から微増に留まる

県税収入は対前年度当初予算からは1,450億円の増額となるが、交付税等の地方財政措置は800億円減の1,600億円となると共に、税収に連動する税交付金等の歳出の増があるため、実質収入ベースの一般財源は、対前年度当初予算に対し219億円増に留まる。

県債については、国の立替借金である「臨時財政対策債」の大幅減とともに、社会資本整備などに充当する「通常の県債」についても、行革大綱に基づき、その残高縮小に努めた結果、県債残高総額でも47年ぶりに減少する見通しであるが、未だ県民一人当たりの県債残高は約70万円強であることから、借金体質からの脱却が急務な

歳出 医療・介護などの社会保障関係費が増加

健康福祉費のうち、後期高齢者医療費負担や介護給付費負担などの伸びにより社会保障関係の確実な増加が続く。また、公債費についても、過去の特例的な県債の増発に伴う満期一括償還分の減債基金への積立金が増加しており、高止まり傾向にある。

建設事業は、三河青い鳥医療療育センターの建設等の大規模事業の完了により、全体では平成27年度当初予算に比べて減少するが、こうした中であっても、県民の皆様への安心・安全につながるような社会基盤整備を積極的に進める。



あま地域等ゼロメートル地帯での防災拠点の整備

県被害予測調査結果を踏まえ、南海トラフ地震により浸水が予測されるゼロメートル地帯において、円滑な救出・救助活動を行うための広域的な防災活動拠点の確保に向け、愛西市など木曾三川下流域の候補地の整備計画を策定するとともに、未決定の整備候補地について、有識者等による検討会を設置し選定を進め

民主党代表質問から



塚本 久 団長 (名古屋市北区、10期) (3月1日、本会議)

主な質問 1

「観光振興の推進」について

Q 「愛知県訪日外客動向調査」の結果を踏まえ、今後、インバウンド施策をどのように展開していくのか?

知事 訪日外客動向調査の結果では、多くの外国人旅行者は満足を感じているものの、フリーWi-Fi整備状況には不満を感じている事が判明した。また、本県を訪問しなかった理由として、「愛知県を知らなかった」という回答が多くあり、更に訪問先では、名古屋市中心部が突出して多く、県内の他の地域には、あまり訪れていないことなどが分かった。

従って、今後はフリーWi-Fi環境整備に取り組みると共に、県内各地への誘客促進については、来年度から新たに中国をはじめ訪日客数が急増しているアジア5か国・地域を対象に、それらの市場特徴やトレンドに合わせ、戦略的かつ効果的にPRを実施することにより、大きな経済効果を生み出す愛知の観光産業を更に盛り上げていく。

主な質問 2

「公共交通ネットワークの充実」について

Q 国内外の来訪者の円滑な移動手段や高齢化を迎える地域の生活の足として、より重要性を増してきている公共交通ネットワークの充実に向け、どの様に取り組んでいくのか?

知事 本県の公共交通の輸送人員は近年横ばい状況にあるが、今後は日常の移動を公共交通機関に頼らざるを得ない高齢者の増加が想定され、公共交通の果たす役割は一層大きくなっていくことから、地域公共交通を維持していくためには、旅行者、特に今後増加が見込まれる海外からの個人旅行者の取り込みが必要である。

このため、今年度着手した「あいち公共交通ビジョン(仮称)」の策定作業の中では、観光やまちづくりと公共交通の連携を念頭におきながら、課題と対応策の検討を進めているところであり、具体的には県内主要鉄道駅・空港へのアクセスや交通結節点における乗換利便性を一層向上させるとともに、生活交通では、通院など市町村域を越えて移動する住民ニーズに対応したバス交通の広域連携などの構築を目指していく。

主な質問 3

「介護従事者の確保」について

Q 本県が取り組む介護従事者の確保策について、現在の進捗状況と来年度の取り組み方針は?

知事 介護従事者確保の当面の目標は、平成29年度までに需要と供給の差約9,400人分を確保することであり、このため、介護職の魅力発信による多様な人材の参入促進や、労働環境・処遇改善等を重点施策として、人材確保の取り組みを現在進めている。

今年度の事業計画は、市町村や関係団体との連携のもと、重点施策に沿って計画どおり取り組みを進捗しており、来年度においても市町村及び介護関係団体等と力を合わせ、着実に介護人材確保対策を進めていく。

加えて、今議会には、より一層介護人材確保対策を推進するため、国の補正予算を活用した基金の増分として、8億円の補正予算案を提案しているが、これにより、中高年齢者の新規参入促進や潜在介護人材の発掘など新たな視点での取り組みを進め、平成28年度には集中的に介護人材確保対策を促進していきたい。

詳しくは愛知県議会ホームページ <http://www.pref.aichi.jp/gikai/>